

# ACDTOPDF

AutoCAD の印刷機能を利用した PDF 変換プログラム ACDTOPDF 簡易マニュアル

KCS カーネルコンピュータシステム

## 特長

1. AutoCAD(標準版)を利用して、AutoCADデータ(DXF,DWG)をPDFに変換します。AutoCAD(標準版)から弊社プリンタドライバKDdriver\_long(PDF) for Windowsに直接印刷することで、精度の高い変換結果が得られます。
2. モデル空間、ペーパー空間共に変換可能です。
3. AutoCADデータに貼り付けられたイメージデータやOffice等のOLEデータもそのまま変換可能です。
4. シングルページとマルチページでの出力を選択することが可能です。
5. ダイアログアプリケーション(GUI)としてもバッチアプリケーション(CUI)としてもご利用できます。
6. バッチ変換による連続実行が可能です。
7. 標準版以外のAutoCAD製品(AutoCAD Mechanical等)が同時にインストールされている共存環境での動作も確認できております。(標準版を利用した動作のみの確認となっています。)
8. レイヤーの表示・非表示を設定することが可能です。

### 注意事項

- ・ 本アプリケーションを使用する際にはAutodesk社製品のAutoCAD(標準版)が必要です。AutoCAD Mechanical版には対応していませんが、AutoCAD Mechanicalをインストールする際に同時にインストールされる標準のAutoCADを使用しての変換は可能です。
- ・ KDdriver\_long(PDF) for Windowsを使用します。なお、KDdriver\_long(PDF) for Windowsは付属しておりますので、別途購入する必要はありません。

## 動作環境

Windows	10 64bit, 11 64bit
AutoCAD	AutoCAD 2021, AutoCAD 2022, AutoCAD 2023, AutoCAD 2024

### 注意事項

対応OSはAutoCADの対応OSに依存します。

## 標準価格

型番	製品名	価格(税抜き)
KD-PRT0606	ACDTOPDF	35万円

# 操作画面

## ファイル設定

入力ファイル名  
出力ファイル名  
ログファイル名  
XML ログファイル名

ファイル設定 | ドライバ設定 | 出力設定

ファイル設定

入力ファイル名: [ ] ...

ファイル出力

出力ファイル名: [ ] ...

ファイル選択  出力用紙サイズ毎に格納先を選択

フォルダ選択

ログファイル名: [ ] ...

XMLログファイル名: [ ] ...

長尺設定

格納先選択

属性保存 変換実行 キャンセル バージョン

出力用紙サイズごとに格納先選択  
変換結果を用紙サイズごとに別のフォルダに振り分けることが可能です。

出力用紙サイズごとの格納先選択  
「格納先選択」ボタンを押すと右のダイアログが表示されます。  
用紙サイズごとの格納先フォルダを選択します。参照ボタンからの指定も可能です。

格納先選択

A0: [ ] ...

A1: [ ] ...

A2: [ ] ...

A3: [ ] ...

A4: [ ] ...

A5: [ ] ...

A6: [ ] ...

A0L: [ ] ...

A1L: [ ] ...

A2L: [ ] ...

A3L: [ ] ...

A4L: [ ] ...

B1: [ ] ...

B2: [ ] ...

B3: [ ] ...

B4: [ ] ...

B5: [ ] ...

OK キャンセル

## ドライバ設定

ファイル設定 | ドライバ設定 | 出力設定

KD Driver Long PDF Driverの設定

PDF Driver名: KD Driver Long PDF Driver [ ] KDdriver設定

データのサイズごとの設定(変換に使用する用紙の種類, 回転方向)

A0:	A0 841 x 1189 mm	159
A1:	A1 (594x841mm)	158
A2:	A2	66
A3:	A3	8
A4:	A4	9
A5:	A5	11
A6:	A6	70
B1:	JIS B1	154
B2:	JIS B2	153
B3:	JIS B3	152
B4:	B4 (JIS)	12
B5:	B5 (JIS)	13
はがき:	Letter	1

用紙サイズ判定の許容誤差

X方向: 4 mm V方向: 5 mm

属性保存 変換実行 キャンセル バージョン

ドライバ名  
KD Driver Long PDF Driver を選択します。

KDdriver 設定ボタン  
KDdriver の印刷設定を変更します。

用紙  
データの用紙サイズごとに、実際に印刷に使用する用紙を指定します。

用紙サイズ判定の許容誤差  
用紙サイズを判定する際の許容誤差を設定します。

## KD Driver Long PDF Driverの設定

**解像度**  
印刷解像度を指定します。

**色**  
出力する PDF データの色を設定します。

**PDF のタイプ**  
ラスター、ベクター、ラスター+文字の PDF 形式を選択できます。

**テキスト関連の設定**  
透明なテキストや、フォントの埋め込みなどを指定します。

**画像形式と JPEG 画質**  
PDF 内の画像形式と、JPEG を選択した場合の画質を設定します。

## 出力設定

**出力対象空間指定**  
変換対象をモデル空間とするか、ペーパー空間とするかを指定します。

**印刷領域指定**  
印刷領域に「レイアウト/図面範囲」、「窓」、「オブジェクト範囲」のいずれかを指定します。

**印刷オフセット**  
印刷オフセットの「印刷の中心」を指定します。

**PDF セキュリティ**  
出力する PDF に付加するセキュリティの内容を設定します。

**印刷尺度**  
印刷尺度を設定します。元データに設定されている印刷尺度の使用も可能です。

**レイヤー表示非表示設定**  
レイヤーの表示非表示を設定したテキストファイルを指定します。

**窓設定**  
各レイアウトに最大 8 個の窓が指定できます。

## コマンドでの操作方法

ACDTOPDFは、コマンドラインから実行したり、バッチファイルやシェルスクリプトに組み込んだりすることができます。ここでは、直接コマンドラインから入力して実行する場合の、基本的な操作手順を示します。バッチファイルなどをご利用になる場合は、コマンドラインに入力する代わりにファイルの中に記述してください。変換を実行するには、次のような形式でコマンドラインに入力します。

```
ACDTOPDF 変換前のファイル名 -0変換後のファイル名
```

-0は、マイナス記号とアルファベットの「オー」です。大文字でも小文字でもかまいませんが、全角文字は使えません。また、変換後のファイル名は空白を空けずに-0の直後に指定します。

たとえば、abc.dwgをabc.pdfに変換するには次のように入力します。（下線部が入力する部分です。）

```
> ACDTOPDF abc.dwg -0abc.pdf
```

リターンコードはデフォルトでは以下が返されます。

正常終了[0]

エラー終了[0以外]

## 主な制限事項

- ◆ PS 形式への出力には対応していません。PDF 形式のみ出力が可能です。
- ◆ 印刷範囲でオブジェクト範囲を指定した場合、用紙サイズに尺度自動調整で出力します。
- ◆ 印刷範囲でレイアウトを指定した場合、データに指定されたままの状態です。用紙サイズを正しく設定しておく必要があります。
- ◆ ログファイルはプログラムでは削除をおこないませんので任意に削除してください。  
XML ログファイルには表示するための xsl ファイルがありますので、このファイルも同時に削除してください。
- ◆ 壊れている図面を読み込んでエラーになった場合は、エラーダイアログを終了させ ACDTOPDF を終了させてください。  
AutoCAD が非表示で止まっている場合がありますので、タスクマネージャから AutoCAD を終了させてください。
- ◆ 変換中に AutoCAD 画面が表示されますが、オペレーティングをおこなわないでください。  
印刷がおこなわれない場合があります。  
もし、オペレーティングをおこない AutoCAD が終了されなかった場合、特に問題はありませんが、手動で AutoCAD を終了させてください。また、非表示の状態で止まっている場合もありますので、その場合はタスクマネージャから AutoCAD を終了してください。
- ◆ AutoCAD LT では動作しません。
- ◆ AutoCAD のシステム変数 DWGCHECK の値によっては、ACDTOPDF の変換処理中に「AutoCAD の警告」ダイアログが表示され変換処理が途中で止まってしまう可能性があります。
- ◆ パラメータは大文字、小文字どちらでも認識されますが、全角文字は使えません。  
また、パラメータとファイル名、ドライバ名等の間に空白をいれないでください。
- ◆ 「窓」指定はペーパー空間のみ指定可能です。最大 8 件まで指定できます。単位は mm です。
- ◆ サービス上での動作や、ログオンしていない状態での動作は保障していません。
- ◆ UAC(ユーザーアカウント制御)が有効になっている場合、UAC で保護されているフォルダにあるファイルを変換することはできません。
- ◆ 3D ダイナミック視点(DVIEW)を実行されたことのあるデータを使用する場合は、印刷範囲が意図したものと異なる場合があります。
- ◆ AutoCAD で正常に開くことができないデータや、印刷が正常におこなえないデータには対応できません。
- ◆ AutoCAD のライセンス認証プログラムのエラーダイアログが出力された場合は、ダイアログを手動で閉じる必要があります。また、サインイン画面が表示された場合は手動で入力して対応をする必要があります。

